



発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部  
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
ハウスドゥ四条ビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人:二ノ湯 智  
国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館921号室  
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字: 栢木寛照



# えとす

令和3年 6・7  
No.332 月合併号

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 東京オリンピックが開会 コロナ禍で観客なしの大会



オリンピック展示飛行を開始するブルーインパルス

### 今ひとつ盛り上がり欠ける

東京オリンピックが、7月23日に開会された。当日、東京は35度の炎天下、開会式に先立ち、12時40分頃から、自衛隊のブルーインパルスによって、国立競技場上空で、見事な五輪のマークが描かれた。今回の東京オリンピックは、昨年コロナ感染症の影響で、1年間延期となった。安倍首相は「人類がコロナに打ち克つた証として」、菅首相は「人類の努力と英知によって難局を乗り越えていけることを東京から発信したい」と開催に強い意欲を示した。森喜朗組織委員会委員長の交代、コロナ感染者の拡大、そして作曲家、演出家の辞任と、次々と問題が続出し、呪われたオリンピックという人もいる。開会から、1週間が経ち、ムードも少しずつ、盛り上がりが出てきた感じがする。30日から、オリンピックスタジアムで、陸上競技が始まる。主催国として日本選手が健闘し、国民に感動を与えるオリンピックになってほしい。

### 恒心

★大学4年生ともなると、本格的な就職活動が始まる。コロナ禍までは、学生にとって売り手市場で、そんなに苦労はしなかったようだ。それが、僅か1年で世の中の様相は一変した。事務所で働いている大学4年のインターンもまだ内定を貰えず、焦りの様子がうかがえる。私は、今から55年前の自らの就職活動を思いだした。★大学卒業を翌年に控え周囲の友人たちは、就職活動に忙しく飛び回っていた。当時、銀行、生保、損保、商社などが形ではなかったか。私はマスコミか代議士秘書になろうかと思っていたが、明確な目標がなかった。★しかし、卒業すればどこかに所属して働かなければならない。それでも、リクルート雑誌に目を通して、会社研究をするわけでもなく、のんびりかまえていた。友人たちの多くは会社の内定をもらって、喜んでいて。★さすがののんびり屋、甘え屋であっても、どこかに就職しなければならぬ。テレビ、新聞のマスコミ関係を受けたが、私のような怠惰な、はっきりした目標もない人間は門前払いである。いよいよ行くところがなくなってきた。★捨てる神あれば、拾う神ありで、私が京都出身の学生で作っていた京都慶応会の世話役をしていたので顧問の先生が心配して、京都の企業が慶應出身の幹部候補生を求めているので、そこへ行けと紹介状を書いて下さった。★私もあちこちの会社に断られ、若干意気消沈しており、卒業したら、京都に帰りたいという希望が出てきたので、渡りに舟と会社に出向いた。紹介して貰った先生の顔で、簡単な筆記試験、面接で内定をもらった。★紹介してもらった会社であったが、私の性格に合わず、僅か1ヵ月足らずで辞めてしまった。その後、苦労したが、何とか人生を大過なく送ることが出来た。就職は人生にとって、大事であるが、それがすべてではない。人生は長い。七転び八起き、至る所に青山ありとインターンに言い聞かせている。

## 来年度の参議院選挙に出馬せず 政界引退を決意しました

私、二ノ湯智参議院議員は来年執行される参議院選挙に出馬せず、政界を引退する決意を固めました。自民党本部は、来年の参議院選挙は、自民党にかなり厳しい選挙になると予想、7月中旬に第1次公認候補者を決定する方針を決めた。その為、党本部は各都道府県支部連合会に、早急に次期予定候補者の選定手続きを進め、党本部に公認候補者を申請するように通達した。自民党京都府連は、二ノ湯参議院議員に対し、次期参議院選挙に立候補の意思の有無を6月8日までに、連絡するように伝えてきた。私は昭和19年9月生れ、現在76才である。9月13日になると、77才となる。人生100年時代とは言え、世代交代を求められる年齢である。私は大学卒業後、一時期、京都の国際会議場で職員として勤務したが、当時京都政界の重鎮であった前尾繁三郎先生の事務所でボランティアとして、土、日は、殆んど先生の事務所を手伝いをした。昭和48年に正式に前尾事務所に入ってから、ほぼ50年間政治一筋の生活を続けて来たことになる。前尾先生の秘書約8年、昭和56年7月に先生が亡くなられ、2年間の浪人生活を経験、その後、昭和48年8月から参議院議員野中広務後援会連合会事務局長を3年間務めて、昭和62年の統一地方選挙で、右京

区から京都市会議員に初当選を果たした。市会議員17年間に在職し、その間、京都市会議長、全国市議会議長会会長にも就任した。平成16年の参議院選挙に立候補、京都市会議員出身者として、初めて参議院議員に当選することが出来た。来年で、参議院議員を18年務めることになる。政治家としてやることはやった、悔いはないと言えない。出処進退程難しいことはないと言われる。正直私も大いに迷った。だが、あとは後進に道を譲り、元気な内に、やり残した色々なことに挑戦し、充実した人生を送りたいという結論に達した。人は二ノ湯さん、まだまだ元気で、あと1期やったらいいのにと言ってお下さる。それを真に受けながら、二ノ湯さんしつこいなと言われるに決まっている。人に多少惜しまれて、舞台を去るのがいいと思っている。私のような出来の悪い者を、見捨てず、長年支えて下さった支援者の皆様に心から感謝の気持ちを抱きたい。残された任期の1年、国会議員として与えられた責任を果たすために精一杯努力を致します。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

令和3年7月

参議院議員 二ノ湯智

## 伊吹文明衆議院議員 勇退を表明

京都1区選出の衆議院議員伊吹文明氏は、今限りで政界を引退することを表明した。伊吹議員は近く予想される衆議院選挙にも極めて意欲的で、府議会・市議員との連名のポスターが目立っていた。有権者は引き続き議員活動をするものと思っていた。伊吹氏は、引退表明の記者会見の中で、事務所スタッフの高齢化、高齢のため自身が任期中に万が一、健康を害することがあつては、議員としての責任を果たすことが出来ないと言った。次期総選挙は、自民党に厳しい選挙と言われている。こまめに日常活動をしている伊吹氏の当選は間違いないと

## 安藤裕衆議院議員次期選挙に出馬せず 京都府第6選挙区支部長突然の辞任

京都府第6選挙区から選出されている安藤裕衆議院議員は、6月24日、第6選挙区の支部長を辞任し、次期衆議院総選挙には出馬しないと西田自民党京都府連会長宛てに文書を送付した。安藤氏の出馬辞任は、巷間、氏の女性問題によるものと伝えられているが、残念なことである。安藤氏は、自民党が野党時代の平成22年、京都府連の候補者公募に応募してきた。当時、二ノ湯参議院議員は府連会長として、選考作業に関わってきた。多くの応募者の中で、安藤氏を最適の候補者として決定、以降、安藤氏は京都6区で活動を続けてきた。最初の選挙、そし

思われるが、何分、現役最高齢であり、挑戦者は共産党の強敵穀田氏、そして維新の若い女性候補である。もし、万が一のことがあれば、伊吹氏の過去の輝かしい経歴が台無しになってしまう。その意味では、惜しまれて勇退する伊吹氏の決断は時宜にかなっているとも言える。秋の総選挙を控え、高齢議員の引退表明が相次いでいる。多くの引退議員は、公募という形をとりながら、実は息子を密かに指名するように仕向けているのが目立つ中、伊吹氏は、官僚として活躍している立派な息子がいるが、後継者に世襲候補を持つてこず、地元京都に縁のある人を、しかも優秀な人を指名したことは高く評価されるのではないかと。

て2回目も比例復活での当選であった。3回目の選挙でようやく選挙区で当選を果たした。選挙地盤も安定してきた。地縁、血縁が全くない京都で10年間よく頑張った。最近、長引くデフレ下で経済低迷が続く中、税理士としての経験と知見を生かして、党の会合では、景気回復、財政問題に、積極的に発言をしていた。政治家として、今後の活躍が大いに期待されていた。地元自治体にとっても国政へのパイプ役がいなくなり、大きな損失である。安藤氏は、自身のSNS(会員制交流サイト)で、積極的に発言し、今後も政治活動を継続していくと決意を述べている。どんな行動をとるのか、注目されることである。



### 自民党京都第1区に勝目氏を擁立 京都出身の若手総務官僚

党の長老で有力な政治家であった伊吹氏の後任は誰になるのか、注目の的であった。身内から後継を出さないと声明しており、後任は1区内の府議会、京都市会、そして第3者となる。仄聞するところでは、地方議員で国政に意欲を示す人はおらず、京都に地縁、血縁がある勝目康氏(47)に決定した。勝目氏は、総務省から京都府に向、府民生活部長、総務部長を務め、京都府政には精通している。自民党は野党時代、候補者不足で公募によって候補者を選考したが、地元事情がよくわからない人が多く、小選挙区の政治家は

### 自民党京都府連6区候補者を決定 安藤氏に代わり清水鴻一郎氏

京都6区の安藤裕衆議院議員が6区支部長を辞任し、次期総選挙に出馬しないことを受けて、自民党京都府連は後任の候補者を早急に決定すべく作業を進めていたが、6区内の府議会議員から出馬を目指す人がなく、かつて6区で選挙を戦った経験のある清水鴻一郎氏(75)を擁立することに決定した。清水氏は、過去2回衆議院議員に当選したが、16年に政界を引退していた。昨年自民党に復党、府連の顧問を務めていたが、安藤氏の突然の政界引退表明を受けて、急遽、6区支部長、次期衆議院選挙の候補予定者と

地元縁のある人が望ましいという声が多くなってきた。その意味では、勝目氏は伊吹文明氏の後継者に最もふさわしい候補者と言える。

#### 抱負

過日、京都府連で1区の立候補予定者に決定いただいた「勝目やすし」です。京都市生まれ、洛星中・高卒で、実家は上京の開業医。総務省に入省、本省のほか、首相官邸、大使館、京都府庁等で経験を積んでまいりました。大きな足跡を残された伊吹文明元衆議院議長の志を継ぎ、「日本と京都の未来のために!」「コロナ収束と経済正常化!」「文化首都・京都の即戦力!」を掲げ、元気な京都、元気な日本を築きます。

なった。清水氏は、次期総選挙に向けた次のように抱負を語った。

#### 抱負

突然の出馬要請に対しまして、家族含め非常に悩みましたが、コロナ禍において私にしかできないことがあると考え出馬に至りました。医療人として、この間の国の施策を見て参りましたが、現場を見てきた私ならば、リアリティーのある対策とスピーディーな対応を提言できるのではないかと少なからず思ったわけでありす。これからの人生100年時代を見据えた医療・介護・福祉先進国へのThe best wayを皆さんと一緒に考えたいと思います。

#### 経歴

昭和49年京都市生まれ  
父は上京区の開業医  
平成5年洛星中・高を卒業  
平成9年東大法学部卒業  
同年、自治省(現総務省)入省  
内閣官房副長官秘書官  
京都府府民生活部長、  
総務部長  
総務省地域振興室長

#### 経歴

昭和21年京都市伏見区生まれ  
伏見中学校、  
京都府立桃山高校卒業  
昭和48年大阪医科大学卒業  
昭和55年米国シカゴ大学留学  
昭和63年  
医療法人清水病院院長  
平成17年  
衆議院議員初当選  
(以後2期当選)  
平成28年医療法人清水会リハビリテーション病院理事長  
現在 京都私立病院協会 会長

### 二ノ湯議員、京都陸協会長に就任

今、オリンピックの真つ最中である。オリンピック競技には色々な種目があるが、メインスタジアムで繰り広げられる陸上競技は、オリンピックの華と言っている。過去のオリンピックでは、京都ゆかりの多くの選手が活躍した。京都には陸上競技の伝統が脈々と息づいている。伝統ある京都陸上競技協会の会長を長年にわたり務めてきた田中セツ子会長(元京都市会議長)は、6月末で退任した。その後任として、田中氏の推薦で、二ノ湯智参議院議員が12代会長に選出された。二ノ湯氏は、2年前から協会の参与を務めている。京都陸協は全国高校駅伝、都道府県対抗女子駅伝、全国車イス駅伝、そして京都市民マラソンを主管しており、非常に権威あるスポーツ協会である。就任にあたり、二ノ湯新会長は「学生時代から陸上一筋に歩んでこられた田中セツ子会長と違って、陸上に関する知識も乏しい私ですが、皆様のご指導をいただき、京都陸上競技協会の充実、発展に微力を尽くしたいと思っております」と挨拶した。



就任の挨拶をする  
二ノ湯新会長

# 都議選に見る 絶妙な世論

先日の東京都議会議員選挙。1自治体の議員選挙ではあるが、約140万人の世論の動向を見る機会として、各党は国政選挙並みの応援体制をとった。

結果としては、今の政治に対する都民の絶妙なバランス感覚が示されたと感じる。すべての政党が勝者とは言えず、既存政党や政治のあり方に対する都民の失望が示された、というものである。

## 1、自民党には厳しい審判

3度にわたる緊急事態宣言(選挙当時)が発令された東京都における自民党への評価は厳しいものだった。選挙戦中盤にマスコミ各社が「自公、過半数獲得の公算」と報じた際、都民には、菅首相の心に届かない説明や科学的根拠に乏しい政策にお墨付きを与えてはなるまい、というバランス感覚が働いたのではないかと推測する。

## 2、都民ファーストは惨敗

「小池旋風」を追い風に55議席を獲得した前回から、今回は31議席と激減。事前予想の壊滅的敗北は免れたものの、4年間の評価は落第点であった。そもそも

小池都知事の人気は、自民党東京都連のドンにいいめられ「悲劇のヒロイン」として火が付いたいわば「判官鼻眞」であり、政治姿勢や理念に裏付けられたものではない。そのメッキが剥がれただけであらう。

## 3、受け皿になれない立憲民主党

コロナ禍の迷走は野党にとってはチャンスであるが、明確な国家ビジョンや政権担当能力を示せない立憲民主党はそのチャンスを活かせていない。政権批判を声高に叫ぶだけでは党の存在さえも危ぶまれるだろう。

## 4、既存政党への失望でファースト2の低投票率

コロナ禍もあり都民生活に直結するはずの都議選であったが、投票率は過去2番目に低い42、89%。上記の通り、既存政党のあり方が現在の国民のニーズに対応できておらず、コミュニケーションや選挙運動の仕方も「古い」と感じられているのであろう。

桜美林大学客員教授

## 二之湯武史

※二之湯武史のYouTubeチャンネル「最適化社会 日本」が開設されました。新しい社会のあり方について、その道の第一線で活躍する皆さんとの対談で解説していきます。皆さま、ぜひ登録ください。

## 第75回文人展

### 二ノ湯議員、今年も出品

今年は文人連盟が発足し、75回目の節目の年である。昨年74回目は、コロナ禍の中止となった。連盟主催の第75回文人展が、6月8日〜13日、左京区岡崎の京都市美術館で開催された。二ノ湯参議院議員は今年も出品した。政治家で出品されている人は、今は故人となられた、元京都府知事の林田由紀夫、元文部大臣の奥田幹雄のお2人。それぞれ風格のある立



## 身辺雑記

一、陸上の男子100m、200mの競争は熾烈を極める。わずか0秒1・2の争い。オリンピックを目指し、数年間練習に励んできた選手たち。たった、10秒間で、出場可否が決まるとは、過酷で、残酷な種目である。

一、霞が関のエリート官僚が、新型コロナ対策の家賃支援給付金をだまし取って逮捕された。前途有為な若手官僚が、わずかな支援金欲しさに、不正を働いて、人生を台無しにしてしまった。全く愚かな2人の行いである。

一、千葉県八街市で、トラックが下校途中の児童の行列に突っ込み、2人を死亡

派な書である。二ノ湯議員の作品は、「相逢一笑泯恩仇」(相逢うて一笑すれば恩讐(ほ)泯(びん))。1932年、上海で、日中両国が武力衝突して、日中関係は険悪な関係となった。西村真琴(元北大教授、俳優西村晃の父親)は、上海へ渡り、被害者救済に従事した。中国の詩人、作家である魯迅は西村の行動に感激し、西村真琴に、「三義塔に題す」という漢詩を送った。難しい問題があっても、お互い逢って、笑いあえば、憎しみも消え去るという意味である。

させ、多くの児童に大けがをさせた。トラック運転手は、車内で酒を飲んでいたようだ。前途ある子供たちの命を一瞬に奪った運転手に強い憤りを覚える。

一、7月1日、中国共産党創立100周年の記念式典が、天安門広場で、7万人の党員が参加して盛大に行われた。世界第2位の経済大国、強大な軍事大国は、今後どの方向を向いて進むのか。異質な大国の行方に世界の注目が集まる。

一、大谷翔平選手の連日の大活躍は、コロナで鬱陶しい日々を過ごす日本人の気分をまぎらわし、爽快にしてくれる。毎日、彼の活躍が気にかかる。イチロー、松井も素晴らしかったが、大谷は、それを大幅に上回っている。